

科目名	成人急性期看護学特別研究Ⅱ Research ProjectⅡ in Acute Care Adult Nursing	担当教員 (研究室番号)	長谷川 智之 (302)	教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目	選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	4 (60)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
科目 目的	研究計画に沿って実際にデータ収集活動を推進し、研究者として必要な基礎的能力を習得する。データ収集活動の前には、研究計画の倫理面についても検討し、研究倫理審査を受審することによって研究者倫理についても育成する。										
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。									
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達 目標	1. 研究計画の実施に伴う研究倫理要件を検討し、研究倫理審査を受審することができる。 2. 研究に必要なデータを適切に収集できる。 3. 必要に応じて研究フィールドの調整を行うことができる。										
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション (50%)、倫理審査申請に関する書類 (40%)、取組み状況 (10%)										
教科書	特に指定しない。										
参考書等	必要時に提示する。										
受講者への メッセージ											
備考	データ収集活動に先立って本学の研究倫理審査を受審し、「承認」の判定を得ること。										
学 習 内 容											
【到達目標1について】 - 研究計画の実施にあたり必要な倫理的要件を検討し、他の大学院生や指導教員に対しプレゼンテーションを行い、聴講者からの意見を参考に修正する。 - 検討した研究計画に関連し、研究倫理が適切に確保されているか確認するために本学倫理審査会に研究倫理審査申請書等を提出する。 - 倫理審査会からの指摘事項に対応して倫理審査申請書を修正し、「承認」を得るまで再提出する。 【到達目標2について】 - 研究計画に沿って適切にデータを収集する。また、研究方法に応じた手法を修得し、その際の留意事項等も理解する。 【到達目標3について】 - 研究方法に応じて、施設・対象者への依頼方法を検討して主体的に行う。											